

県内景況情報

1月期

製造業

〈食料品〉

〔パン・菓子製造業〕

昨年来、数回におよぶ原材料の値上げに苦しむ。また、玉子の高騰及び品薄等で大変である。

〈繊維工業〉

〔和装製品・その他の衣服・繊維製身の回り品製造業〕

厳しい状況が継続している。

〈木材・木製品〉

〔家具製造業〕

円安や生活必需品等の高騰の影響により、家具などの商品の買い控えが起きていて販売店では家具が売れないという状況である。

〔製材業、木製品製造業〕

収益は大幅に減少傾向。

〈窯業・土石製品〉

〔コンクリート製品製造業〕

12月より売上高は増加したが、利益等是不変となっている。まだ原材料の値上で利益率が届いていない状況。市場動向について年度末に向けて民間事業及び官庁物件減少。来年度に向けての発注物件の減少が懸念される。

〈一般機器〉

〔一般機械器具製造業〕

光熱費高騰の中、寒波による電力使用量増加に費用負担がのしかかっている。

〈鉄鋼・金属〉

〔金属素形材製品製造業〕

先月から部品の調達網について、報道では国内回帰の流れがあると伝えられていたが、去年までの段階では実際にはそういった話を聞く事はなかった。しかし、今年に入って実際にそういった商談があり、急に実感が湧いてきた次第である。EVについて様々な話題があるが、ガソリン車やハイブリッド車時代ほどには、EVの部品は無い(少ない)感触である。部品を製造する我々としては、自動車部品以外で利益を確保する方法を模索しつつも、日本勢のEVがどのような変革を遂げていくのか本当によく注視していきたいと思っている。

〈その他の製造業〉

〔豊等生活雑貨品製造業〕

1月連休と極寒により、昨年とほぼ同様で少々厳しいスタートになった。来月工事受注依頼が多数あり、来月は好スタートになる。

非製造業

〈小売業〉

〔花・植木小売業〕

生産者が次々と廃業をしている。燃料、資材、運賃などの高騰により小規模の生産者は、近場の市場に自分で出荷しているの産地が近くにない市場は荷物が入荷しづらくなっている。原材料が高くなっているの、生産者も必要以上に生産せず市場の荷物が少なめである。荷物が揃わないので、大手買参人は直接生産者と市場外取引を行うことが始まっている。

〈卸売業〉

〔電気機械器具卸売業〕

仕入れ商品の値上がりが続いている。

〔生鮮魚介卸売業〕

感染者の減少により人出も増えて飲食業界に活気が出てきた。

〈商店街〉

〔福岡市〕

コロナ感染者は減少しているが、物価高に加え電気代、ガス代、燃料価格の高騰が止まらないとこの厳しい状況はどうしようもないと考えている。本当に今後が不安である。

〈サービス業〉

〔リネンサプライ業〕

燃料費の高騰や原材料の値上がりが続き、以前の価格改定ではまかないきれなくなってきた。コロナの時期より顧客は戻ってきているが、未だ大規模な宴会等はなくおしぼりの需要は戻りきっていない状態である。

〈建設業〉

〔総合工事業〕

資材等においては、価格の高止まりで今はその価格になれているようだが、資材が不足しているため、工期が遅れ、不安を抱えている。

〈運輸業〉

〔道路貨物運送業〕

高速道路の深夜割引の見直しが決定した。東京便など長距離では割引額が減少する。2024年問題もかかえており、コスト増が懸念される。荷動きについては回復傾向である。

〈その他の非製造業〉

〔砂・砂利・玉石採取業〕

官公需要・民間需要共に減少傾向が続いている。(資材出荷量・対前年比88%)

福岡県の業種別D・I値の変化

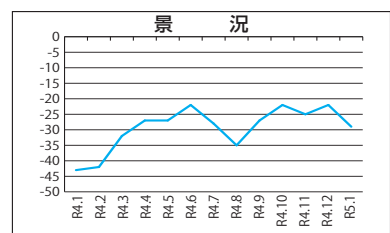
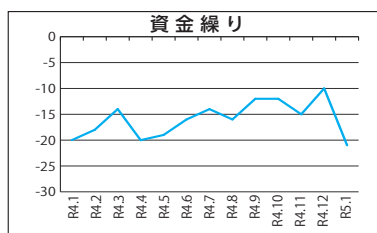
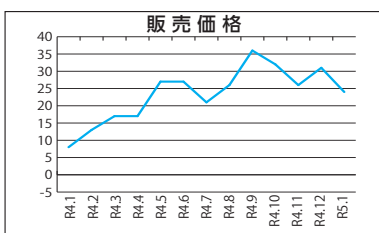
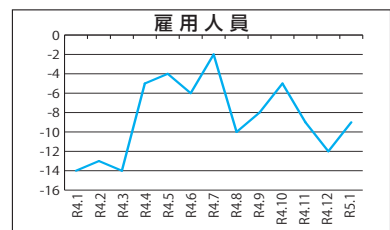
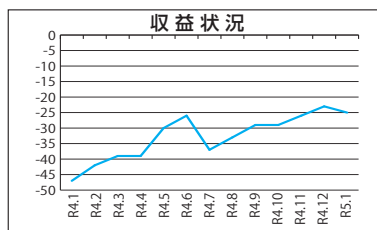
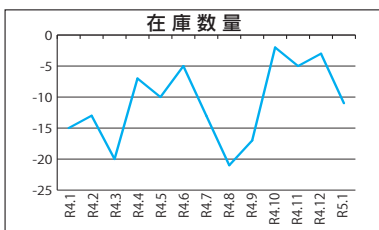
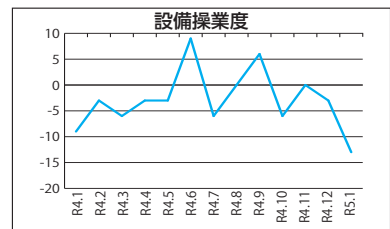
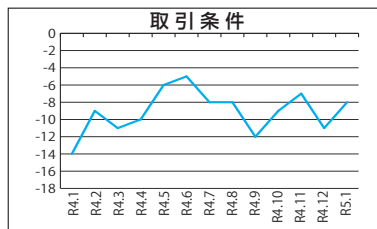
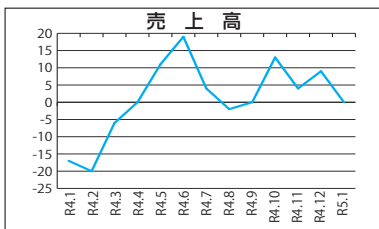
(福岡県中小企業団体中央会調査)

業種	項目	前年同月比								
		売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	景況
製造業	食料品	→	→	→	→	↓	→	↓	→	↓
	繊維・同製品	↓	↗	→	→	↓	↓	↓	↓	↓
	木材・木製品	↓	→	↑	→	↓	→	→	→	↓
	印刷	↗	→	→	→	↓	↓	→	→	↓
	窯業・土石製品	→	→	↑	→	→	→	→	→	→
	鉄鋼・金属	↑	→	↑	→	→	→	→	→	→
	一般機器	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	電気機器	→	→	→	→	→	→	→	→	→
非製造業	卸売業	→	→	↑	→	→	→	—	→	→
	小売業	↓	→	→	→	↓	↓	—	→	↓
	商店街	→	→	→	→	→	→	—	→	→
	サービス業	→	—	→	→	→	→	—	→	→
	建設業	→	—	→	→	→	→	—	→	→
	運輸業	→	—	→	→	↓	→	—	→	↓
	その他	↑	—	↑	↑	↑	→	—	→	↑
D・I		0	-11	24	8	-25	-21	-13	-9	-29

↑ 増加・上昇・好転 ↗ 増加・上昇・好転の傾向 → 不変 ↓ 減少・下落・悪化の傾向 ↓ 減少・下落・悪化

D・Iとは…Diffusion Index(ディフュージョン・インデックス)の略で、企業の業界感や設備、雇用人員の過不足などの判断を指数化したものである。前年同月に比べ「好転」・「増加」したとする割合から「悪化」・「減少」したとする割合を差し引いた値。

●前月比D・Iの動きをみると、取引条件の改善により、収益状況も回復傾向にあるものの、資金繰り、設備操業度は大幅に悪化した。



全国中小企業団体中央会では、ホームページ上で月次景況調査(情報連絡員全国集計)を公開しておりますので、ぜひご覧下さい。

全国中小企業団体中央会ホームページ <https://www.chuokai.or.jp/>